

成果報告書

地域文化倶楽部(仮称)創設支援事業

団体名	C.C.C.THEATER		
所在地	神奈川県茅ヶ崎市	設立年	2017年
運営主体	C.C.C.THEATER		
事業目標	<p>【メンバー】 稽古(月3回※公演前は毎週末)と公演(年一回)を通じ、以下の点を醸成する。 ・自分の意見や気持ちを伝えられるようになる。 ・他者の話に耳を傾け、思いやりをもって受け入れられるようになる。</p> <p>【保護者】 ・子どもの成長において、演劇教育の有用性を理解してもらう。</p> <p>【団体】 ・約5年間活動を継続してきて、現在は茅ヶ崎市内さらにはそれ以外の小学校・中学校からの参加者が在籍している。様々な地域での子どもたちや保護者のつながりは増えつつあるが、さらに学校や地域のコミュニティとの連携に力を入れ、子どもたちのより豊かな芸術活動の普及を目指す。</p>		
きっかけ	<p>C.C.C.THEATERは、茅ヶ崎市内小学校演劇クラブにおいての、指導または演劇教育の普及活動を発端としている。2017年に持続可能な事業に発展させるために、茅ヶ崎市子ども達を中心に展開する劇団C.C.C.THEATERを設立した。役者を育てるのではなく、演劇を通じて、子どもたちが自ら考える想像力、他者と一緒に作る創造力を育み、演じる経験で、自分にしかできない自己表現の楽しさを体験してもらい、自己肯定感を獲得すること。また、仲間との新しい出会いとともに多様性を受け入れ、思いやりの心を持つ事の学びを大切にしている。</p>		
団体・組織等の連携			
活動場所	C.C.C.THEATER稽古場、市内公共施設		
活動概要	<p>稽古:①本公演4か月前まで 毎月3回(日曜日) ②本公演4か月前から 毎月8回(土日)※配役や月によって、流動的。 発表:①本公演 年一回 ②ミニ発表会 年1回~2回 ※保護者向けに実施。</p>		

○本事業による成果

【メンバー】

①自分の意見や気持ちを伝えられるようになる。

→アンケート結果からほとんどのメンバーから、伝えられるようになったと回答を得られました。対話をしながら、作品を作っていく過程で、自分の意見や考えが採用または認められる経験を積み重ねることで、徐々に自己肯定感を育むことができたと考えています。分かりやすい成果としては、毎回稽古後に振り返りの時間を設けているが、積極的な発言が出るようになった。

②自己表現が楽しいかどうか。また、自己表現をしたときの気持ちを記述式で回答してもらおう。

→自分の考えが、他者に聞いてもらえる、受け入れられることで楽しさや自信に繋がるといった回答が多く得られました。

→アンケートより抜粋

- ・皆んなに頷いてもらったり、私の意見を聞いて考え込んでいる姿を見れると素直に嬉しくなります。
- ・自分の成長、自慢の仲間を自分の知人友人に見せることができる喜びを感じた。
- ・アドバイスを言ったらみんな次からしっかり改善してくれて安心しました。
- ・発表した時はやっぱり楽しいよね！ワクワクする！
- ・お客さんの前に行く楽しい気持ちでいっぱいでした。とにかく楽しかったです。

③仲間の意見に思いやりをもって耳を傾けることが必要か。なぜ思ったかを記述式で回答してもらおう。

→他者を思いやることの大切さを作品作りをする原体験から、感じ取った回答が多く得られました。

→アンケートから抜粋

- ・「知る」というのが本当の会話、コミュニケーションだと私は思っています。
- ・思いやりは小さな幸せを生み出します。それは学校社会でも大切で、相手に気をつかうのではなく、想うところがある人が、小さなことにも喜びその笑顔が他の人をも笑顔にします。
- ・耳を傾けることは相手を知ることができる、そして相手は自分の意見を聞いてくれると思えばお互いに良好な関係が築ける。
- ・色々な視点の意見を聞いてそれを劇に入れるとよりいいものになるから。
- ・意見に耳を傾けることによってより良いシーンが作れたと思ったからです。

【保護者】

①気持ちを伝えたり、意見をすることについて、子どもの変化はあったかどうか。

また、具体的にどのような変化があったか記述式で回答してもらおう。

→多くの保護者からは、子どもの前向きな変化について、評価をしてもらいました。

→アンケート結果より抜粋

- ・自分も人も大事にするようになりました。気持ちにゆとりが出来たと思います。
- ・他者と協力して何かを成し遂げる責任感において変化を感じました。
- ・とても明るくなり、学校でも発言する機会が増えたり等とても良い方向に変わっています。
- ・自分から、自分の事を伝える事の大切さを学びました。
- ・人見知りが激しかったが、驚くほど変わった。
- ・成長や理解度がゆっくりでも信頼できる大人、認め合う仲間がいてくれるお陰で心は大きく深く成長したと思います。
- ・学校の先生に、意見が言えるようになったと褒めてもらい、自信に繋がりました。

【団体】

無料のワークショップや公演情報を、地域の公共施設へ案内。掲示などを依頼し、反応を考察する。

→SNSや市内各所（公共施設や飲食店等の事業所）にチラシを展開することで、集客に繋げることができた。

○児童・生徒への指導に関する工夫

- ・指導については、部活動に比べ、専門性の高い指導が実施できている。プロによる演技、ダンス、歌唱指導をはじめ、舞台スタッフ全てにおいて、質の高い人材を配置しました。
- ・C.C.C.THEATERを卒業したメンバーが、運営サポートとして、携わってもらい、演者視点だけでなく、舞台運営の経験もできるように工夫している。
- ・ヘアメイクの専門学生と連携し、教育機関の実習として貢献できるように工夫している。
- ・自己肯定感を育むことを大切にし、対話をしメンバーの意見を尊重するよう徹底している。

○運営上の工夫

・指導者の養成・質の確保について

→質については、目的、方向性の一致が重要であると考え、理念に共感を得られている指導者で構成している。

・活動時間等の在り方等について

→対話を大切にしているため、年齢によって時間を分けている。本番前の稽古からは、全体稽古に切り替えている。

・地域、保護者、教育機関等との連絡調整について

保護者に理解をしてもらうために、情報共有を徹底している。手法としては、LINEアカウントの活用や保護者会の開催をしている。

・活動場所について

場所については、稽古人数によって、変更している。人数が多い場合は公共施設を活用している。

・活動支援・事業運営のためにICTを活用しているか。

→スタッフ等ミーティングは、ZOOMを活用している。また、保護者とのやり取りは、LINEアカウントを活用し、情報共有や意見交換を行っている。

○継続的な運営に関する課題・展望

・活動場所

→公共施設の利用については、都度抽選であるため、スケジュールが立てづらいため、年間を通して確保できるような仕組みを作る必要性を感じます。

・指導者

→質を担保するのであれば、少なくとも平均水準の給与を用意する必要がある。ボランティアでやるのであれば、教員が部活指導をしていた状況を外部に移しただけになってしまうため、根本的な解決には繋がらないと考え、収益をどう生み出すかが課題であると認識しています。

・教育機関や地域との連携

→地域移行した部活動と一般的な習い事との差別化をし、認知してもらうことが必要であると考えています。また、学校や教員がどのようにコミットするべきなのか、教育プログラムの一環として、存在意義を明確化することも必要かと考えています。

・会費

→保護者へは、入会前に説明会を開き、納得をもらったうえで入会してもらっています。会費のみで持続可能にするためには、増額を検討する必要があるが、すそ野を狭める可能性があるため、現時点では実施をしません。部活動として、持続可能な形にするためには、県や市からの安定的な予算立てが必要であると考えています。スポンサーなどの資金調達については、どこがやるのかが重要になってくると考えています。民間組織に委ねる場合は、地域によって、部活動の格差が生じることも懸念しています。

○令和5年度からの学校部活動の段階的な地域移行に関する方針・提案

活動資金をどう捻出するかが、最も重要な点であると考えています。今回の事業の成果から、子ども達の成長に寄与できることは、当事者や保護者から評価を受けており、演劇教育の可能性を改めて実感することができました。持続可能な形にするためには、市や県や国から予算が出ること、または、活動組織に対し、活動場所や資金調達の優遇措置も検討していても良いかと考えています。また、別の視点から、それぞれの団体が個別に動くのではなく、部活動地域移行を取りまとめる団体等を設立し、集約することも必要かと思われれます。

○令和4年度 取組状況等

参加者	人数等	37名
	学校名	小学生以上の学生
	募集方法	各種SNS、イベントでのチラシ配布
指導者	人数等	4人
	募集方法	関係による紹介
参加者の移動手段		徒歩、自転車、各種交通機関
活動費用	指導者謝金等	指導者、制作者 基本、時給1,600円 仕事内容に合わせて変動あり
	その他	
活動財源	会費	①入会金:10,000円 ②会費:6,000円(月謝)※5月~10月 ③会費:8,000円(月謝)※11月~2月 ④公演参加費(衣装費・指導費):30,000円
	その他	⑤公演チケット収入 大人2,800円(高校生以上)/子ども1,500円(小中学生) 未就学児:無料※但し席を使わない場合に限る。 ⑥地域文化倶楽部(仮称)創設支援金
スケジュール	基本活動	1、演劇遊び 2、創作活動 3、稽古 4、公演
	年間	1、演劇遊び 期間:5月~6月(日曜日/月3回)午前:小学生 午後:中高生 2、創作活動 期間:7月~10月(日曜日/月3回)午前:小学生 午後:中高生 3、稽古 期間:11月(土日祝/月8回)午前:小学生 午後:中高生 12月(土日祝/月8回)午前:小学生 午後:中高生 1月~2月(土日祝/月6回以上) 終日合同 4、公演 開催日:2月25日(土曜日)午後1回 2月26日(日曜日)午前1回、午後1回 / 両日合計3公演
保険加入等		スポーツ保険(中学生以下800円/一人、高校生以上1850円/一人)

【活動の様子（写真添付）】

